

## 追い風の真意「国民は見ている」

### (民主党政権)

1. 約4年近く前、自民党の末期で、国民は自民党を完全に見離して政権交代することを選択した。正に、追い風を呼び起こし、民主党政権が誕生した。その流れに溺れ、結果を錯覚したのが、民主党の幹部を中心とする者たちであった。政党の信条やマニフェストが理解され、支持されたと勘違いをし、大勢が「政権交代」を旗印に国民が風を起こしたものであることを、浮かれ、見失ってしまったことが、残念極まるものでした。

国民から信頼を失ったのは、次の5項である。

- (1) 与党に成り切れなかった。
- (2) 官僚との信頼関係を構築出来ず、旨く取り込み遣えなかった。
- (3) 自民党政権の作り上げた業界や関連団体等の仕組み、繋がりを断ち切れず自分達に向けようと焦ったこと。
- (4) 組織、団体で決まったこと、民主主義の原点である賛成多数での方針に従えない者が多すぎたこと。
- (5) 平気で内部批判を外部に伝え、組織の一員としての自覚の欠ける者が多かったこと。

この(1)～(5)によって、国民が期待外れとして見離してしまった。

### (自民党政権)

2. 浅はかな民主党から見れば、自民党は老獺で強かである。思っている、立場を弁え、意見が違っても、党議(方針)に従う。選挙を第一に、我慢をすることを知っている。所謂、大人の政党であり、今後を注目したい……！  
兎も角、余程の失政があれば、逆風の種となるべきことが現れなければ、最低でも自民党政権は、3年、続きそうである。

### (引越<sup>たけなわ</sup>し酣蘭の永田町)

3. 国政選挙の結果、いつもこの時期には、落選した議員達が、只の人となり、議員会館や宿舍を引き払う……。再選を果たした議員は、余裕で、新人議員の世話をする。新人議員は、地方から覇者として、堂々と都入りをして、天下国下を論じる仲間入りをする。

従って、いつもこの時期になると引越<sup>たけなわ</sup>し酣蘭の永田町である。

去る7月31日（水）に参議院会館を訪問した。  
従来より2.5倍の広さになっている各議員事務所……。だから、荷物も沢山、エレベーターの半分は、引越し専用となっていた。

受付の議員一覧各簿には、新人議員の名前が載っていなかった。  
受付嬢に聞くと、引越しを終えた議員を順次、記載すると……。！  
エレベーター内の各階ごとの議員名一覧には、名前があった。  
新人議員の部屋は、エレベーターの近くで、便利な位置で予め聞いていた秘書に会い、事務所内を案内して貰った。未だ、引越しの最中であり、整理の途中でした。

正に、訪問客第一号でした。更に、所属の委員会等が決っていない状態で、名刺には参議院議員 ○○ ○○ とシンプルなものでした。  
受け取った名刺は、正に第一号でした。

この城を拠点に良い仕事をして国民の負託に応じて貰いたいと真に願うものです。